http://joonji.jp

真宗大谷派
浄恩寺
浄恩寺　雅楽葬　検索

平成２８年　１０月　第３８５号

浄恩寺同朋会報

住職携帯電話　０８０－３０６６－８９２０

十一月十三日（日）に報恩講をお勤めします。

浄恩寺「報恩講法要」の流れ

9:45　集合　焼香して下さい。
10:00　お勤め「正信偈」
※普通の読み方ですが、後半の念仏と和讃の読み方が違います。

10:50　法話　長谷川　誠氏

東別院前教化部長、上宮寺住職。雅楽仲間です。久しぶりに法話をお願いできました。

12:00　おとき　本堂二階で昼食
お抹茶も召し上がってください。

13:30　お勤め「正信偈」
※真四句目下という、報恩講独特の読み方をします。和讃も違います。

14:15　法話　長谷川　誠氏
15:00　法要終了
★午前だけでも、午後からでも結構ですのでぜひお参りください。

『報恩講の意義』

蓮如上人は、年に一度の報恩講は言うまでもなく、毎月二十八日には聞法の集いを開かれました。その御文（おふみ）に「二十八日は親鸞聖人の御明日（命日）として、必ず報恩謝徳のこころざしをはこばざる人すくなし」と言われ、命日をあえて「明日」とされたのも、「いのちを明らかにする日」と受けとられたからでありましょう。親鸞聖人の御命日を縁として、あらためて教えを聞かせていただき、今生きていることの尊さを明らかにする。このことが親鸞聖人のご本意に応（かな）うことであり、同時に私自身の本当の喜びでもあります。

日ごろ忙しく駆けずり回っている私たちです。平常お寺にご無沙汰の人も、せめて年に一度の報恩講には親鸞聖人と真向いになって、「何のために生きているのか」自身の生き様を問いつつ、じっくりと聖人の教えに耳を傾け、悔いなき人生を見出して生きたいものです。

「おみがきのご案内」

十一月三日、（木）文化の日に、真鍮仏具のお磨きと飾りつけを行います。ご参加いただける方は、ご一報ください。

「報恩講法要の御懇志」をご依頼申し上げます。

皆様の御懇志は、法要の諸費用と、境内地拡張（駐車場用地）資金積立、また、ご本山への上納金等の資金の積立金にさせていただきます。

懇志の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

住職総代一同

十月、十一月は、様々な行事があります。

- 十月五日（水）「管弦と舞楽の会」
  雅楽の定期演奏会　芸術創造創造センター
- 十月九日（日）「碩善寺住職継承法要」
  供舞楽「迦陵頻」　碩善寺（日進市）
- 十一月二十日（日）～二十八日（月）
  「真宗本廟両堂等御修復完了奉告法要」
  「御正忌報恩講」

本山東本願寺（京都）の両法要に雅楽の演奏で参勤して参ります。二十日の法要ですが、今年は特別に、「阿弥陀堂」「御影堂」修復完成の慶祝の法要が勤まります。同日に両堂で勤めることは、異例です。

住職は、十一月二十日・二十一日・二十二日・二十四日・二十五日・二十七日・二十八日。

右記の七日間、京都に参りますので、各日にちが月参りに当たる方は日にちの変更をお願い致します。